施策番号	2113					
施策名	水と緑を生かしたまちづくり					
概要	自然や歴史環境を生かした公園や水辺環境の整備などを推進し、水と緑を生かしたまちづくりを進める。					
担当局	建設局 上下水道局					
上位政策	211 美しいまちをつくる					

施策の評価

1 客観指標評価

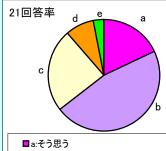
			20年度	2 1 年度評価				
		19年度		前回値	最新値	目標値	達成度	評価
1	緑被率 (%)	С	С	24.0	25.8	33. 0	78.2%	С
2	河川整備(%)	b	b	54. 4	54.8	55.8	98. 2%	b
3	公園箇所数(箇所)	a	a	839	861	25箇所増	88.0%	b
4	緑化助成事業により創出した緑化面積(㎡)	a	a	389	538	538 m²	100.0%	a
5		_	_	-	1	-	ı	_
6	-	_	-	-	-	-	-	_
7	-	_	-	-	-	-	-	_
8	-	_	_	_	-	_	1	_
9	-	_	-	-	-	_	-	_
10	-	_	_	-	-	_	-	_
		a	a	客観指標総合評価				b

2 市民生活実感評価

京都は水と緑をうまく生かしたまちである。

設問

	19		20		21	
回答	回答者数	回答率	回答者数	回答率	回答者数	回答率
a:そう思う	83	17.3%	165	21. 9%	111	18. 1%
b:どちらかというとそう思う	193	40. 2%	302	40.1%	284	46. 3%
c:どちらとも言えない	126	26. 3%	201	26. 7%	149	24. 3%
d:どちらかというとそう思わない	48	10.0%	54	7. 2%	51	8.3%
e:そう思わない	30	6. 2%	31	4.1%	18	2.9%
有効回答数	480		753		613	
市民生活実感評価	市民生活実感評価 b		b		b	



■b:どちらかというとそう思う

□c:どちらとも言えない

■d:どちらかというとそう思わない

■e:そう思わない

* この評価は、毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

3 総合評価(客観指標総合評価+市民生活実感評価)

	19	20	21			
客観指標総合評価	а	а	b			
市民生活実感評価	b	b	b			
総合評価	В	В	В			
重み付け	重み付け (理由)					
□客観指標□□市民の実感	この施策は、市民生活の充実感及び満足感を高めることが目的であるので、市民生活実感評価を重視する。					

4 原因分析・今後の方向性 ※客観指標総合評価、市民生活実感評価、事務事業評価の結果等を踏まえて記入

- ・総合評価は昨年度に引き続き, B評価となった。
- ・客観指標評価は, a 評価から b 評価となっているが,これは指標の 1 つである「公園の設置箇所 数」が昨年過去最高値になり,本年はそれに満たなかったことによる。
- 一方,市民生活実感評価は,昨年度と同様b評価であり,まずまずの評価を得ていると考えられるが,本施策は市民の実感を重視しているため,総合評価を向上させるためには,これらの取組を市民の皆様に広くお知らせしていく必要がある。
- ・今後とも、水と緑に彩られた潤いのある都市空間となるよう、河川環境の整備に取り組むとともに、緑を守り、育て、増やすことによって都市緑化の更なる推進を図っていく。また、これらの取組の広報を通じて、市民生活実感評価の更なる向上を図る。

(参考) この施策を実現するための事務事業

		事業名	20年度予算 (千円)*	21年度予算 (千円)*	20年度事務事業評価に おける今後の方向性	担当局
(従)	1	農業啓発	39, 100	39, 100	現状のまま継続	産業観光局
(従)	2	農業基盤整備事業	68, 925	66, 420	効率化等による見直し	産業観光局
(従)	3	農地・水・環境保全向上対策	36, 447	36, 447	充実	産業観光局
	4	河川改良	260, 559	269, 179	現状のまま継続	建設局
	5	堀川水辺環境整備	399, 200	0	終了	建設局
	6	大宮交通公園	19, 591	19, 496	縮小等による見直し	建設局
	7	梅小路公園	78, 598	77, 898	現状のまま継続	建設局
	8	桂川緑地整備(西大橋右岸地区)	6,022	5, 375	現状のまま継続	建設局
	9	淀城跡公園整備	6,022	5, 375	現状のまま継続	建設局
	10	大見公園整備	6,022	5, 375	現状のまま継続	建設局
	11	緑化フェア参加負担金	12, 797	12, 797	現状のまま継続	建設局
	12	緑の基本計画に基づく緑化推進事業	17, 817	17, 817	現状のまま継続	建設局
	13	大都市公園機能実態調査	9, 022	8, 375	現状のまま継続	建設局
	14	街区公園の整備	1, 551, 214	1, 329, 840	現状のまま継続	建設局
	15					
	16					
	17					
	18					
	19					
	20					
		合計	2, 511, 336	1, 893, 492		
	うち、主たる事業の合計		2, 366, 864	1, 751, 525		
		(従たる事業の合計)	(144, 472)	(141, 967)		

* 予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含む

水と緑を生かしたまちづくり 施策名 2113 指標名 緑被率(%) 担当課 連絡先 222 - 3589緑政課 指標の説明 空から見た敷地に対する緑(林地、植樹地、草地、農地、水面、裸地を含める)の占める割合 指標の意味 算出方法・出典等 都市の水害に対する防災力を示す指標 デジタル航空写真画像データを利用して, 画像解析を 行い緑被箇所の抽出をGISシステムによって集計 4 数値 前回数值 最新数值 目標値 推移 3年度 17年度 数値 根拠 達成度 24.0 25.8 1.8ポイント増 数値 中長期目標 全国順 目標年次 数値 達成度 備考 「京都市緑の基本計画」に掲載 37年度 78.2% 数値 33.0 6 基準説明 5 評価基準 7 評価結果 中長期目標に対する達成度が 100%以上の達成をaとし, 等間隔に基 21 19 20 準を設定した。 a:100%以上 b:80%以上100%未満 c:60%以上80%未満 d:40%以上60%未満 e:40%未満 C C \mathbf{C} 指標名 河川整備(%) 担当課 河川整備課 連絡先 222 - 3591指標の説明 本市が河川改修を実施している一級河川(11河川)の改修計画延長に対する改修済延長の割合 指標の意味 算出方法・出典等 河川改修が計画に対してどれだけ推進 改修済延長÷改修計画延長×100 できているかを示す指標 4 数値 目標値 前回数值 最新数值 推移 数値 達成度 都市基盤河川改修事業における改修計 0.4ポイント増加 数値 54.4 54.8 55.8 98 2% 画区間に対する21年度目標改修率 中長期目標 全国順 目標年次 達成度 根拠 数値 位 備考 第10次治水5箇年計画(H19~H23年 数値 56.2 23年度 97. 43% 7 評価結果 5 評価基準 6基準説明 単年度目標に対する達成度が 目標達成には、相当の努力を要するも 19 20 21 のの, 目標値を上回ることは不可能では a:100%以上 b:80%以上100%未満 ないため、100%以上の達成をaとし、20% c:60%以上80%未満 刻みで等間隔に基準を設定した。 d:40%以上60%未満 b b b e:40%未満

水と緑を生かしたまちづくり 施策名 2113 指標名 公園箇所数(箇所) 担当課 連絡先 222 - 3589緑政課 1 指標の説明 市内の公園箇所数 2 指標の意味 3 算出方法・出典等 京都市の公園箇所数が、どれだけ増加したか 公園箇所数の総合計 を示す指標 事業課において調査 4 数値 前回数值 最新数值 目標値 推移 19年度 20年度 数値 根拠 達成度 22箇所増 過去5年間の最高値 数値 839 861 25箇所増 88.0% 中長期目標 全国順 数値 目標年次 達成度 根拠 位 備考 数値 評価基準 6 基準説明 7 評価結果 最新の数値が 公園設置箇所数が,過去5年間の最高 21 19 20 a:過去5年間の最高値以上 値以上になった場合をa, 平均値以上上 b:過去5年間の最高値と上中間(最高値中間未満をcとし,最低値を含めた按分 と平均値の間)の間 として基準を設定した。 c:過去5年間の上中間と平均値の間 過去最大 25 (平成19年度) b d:過去5年間の平均値と下中間(平均値 平均値 13 a a 過去最低 4 (平成15年度) と最低値)の間 e:過去5年間の下中間以下 指標名 緑化助成事業により創出した緑化面積(㎡) 担当課 緑政課 連絡先 222 - 3589指標の説明 緑化助成事業により創出した緑化面積 指標の意味 算出方法・出典等 緑化助成事業により、民有地にどれだ 緑化助成により創出した各年度の緑化面積 けの緑化面積を創出することができたか を示す指標 4 数值 前回数值 最新数值 目標値 推移 19年度 20年度 数値 根拠 達成度 数値 389 538 149㎡増 538 m² 過去5年間の最高値 100.0% 中長期目標 全国順 生け垣緑化助成 (H11~) 築物 (屋上・壁面) 緑化助成 根拠 位 数値 目標年次 達成度 (H18〜) ,京のまちなか緑化 助成 (H20〜) 備考 数値 7 評価結果 評価基準 6 基準説明 単年度目標を設定しその達成度により 100%以上の達成をaとし、等間隔に基 19 20 21 評価 準を設定した。 過去最大 538㎡ (平成20年度) a:100%以上 b: 80%以上~100%未満 過去最低 75㎡ (平成16年度) c: 60%以上~ 80%未満 a a a d: 40%以上~ 60%未満

e: 40%未満